

通達：2014年3月31日

Teyl-JAPAN 受講者 各位

株式会社エドベック
Teyl-JAPAN 事務局
中萬 一憲

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より、Teyl-JAPAN を受講いただき、誠にありがとうございます。
株式会社エドベック Teyl-JAPAN 事務局でございます。

さて、周知の通り、違法転記や無断引用の権利侵害は社会的問題となっております。当事務局も、利用規約に基づいた厳正な対処が必要となっております。受講者の皆様におかれましては、抜粋や引用についてのルールを再度ご確認ください、Teyl-JAPAN の利用規約にのっとり、参考資料をご使用いただけますようお願い申し上げます。

まず、お申込の際に、ご同意いただきました Teyl-JAPAN 利用者への利用規約から第4章の一部を抜粋したものを以下記します。第4章では、コースを受講する上での禁止事項などを記載しており、その中から13条の権利侵害について、14条の受講停止と資格停止について記しました。今一度ご確認くださいませようお願い申し上げます。

=====

Teyl-JAPAN 利用者 利用規約

第4章 本コースの変更、停止等

第13条（禁止事項）

利用者は、本コースを利用するにあたり、次の各号に該当する、又は当社がそのおそれがあると判断する行為を行わないものとします。

(9) 当社又は本コースに関連する第三者の知的財産権その他の権利を侵害する行為、又は侵害するおそれのある行為。

第14条（利用資格の停止・取り消し）

1. 当社は、利用者が前条各号の一に該当する行為を行っているか、又は当該行為を行うおそれがあると判断した場合、何らの通知をすることなく、本コースの全部又は一部の利用を停止、又は中止することができるものとします。

2. 第1項の規定により本コースの利用を停止又は中止された場合でも、利用者が当社に対して既に支払われた利用料金は返還致しません。

次に、抜粋や引用の方法でございますが、ウェブページや論文、翻訳論文を参考資料に引用する場合、「ご自身の言葉」と「他人の言葉」が明確に区別されるよう、ご記載の程よろしくお願い申し上げます。「他人の言葉」には“著者名”、“題名”、“ページ(年号)”、“団体(出版社)”など著作物の種類に合わせて記載していただく必要がございます。これは、倫理的観念でなく、法的に必要なことでございます。

受講者の皆様には上記内容をご確認頂き、今後もより良いTeyl運営にご協力頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。